

近現代史Ⅱ

2010 年度 冬学期 木曜 4 限 伊熊教員 講義録

9.11 から 9 年たった今も我々はイスラーム過激派によるテロの脅威にさらされている。

なぜテロリストはアメリカを狙ったのか？

イスラームを守る→イスラーム過激派

敵はイスラエルとそのバックにいる USA

イスラーム過激派

「政治的イスラーム」

ユダヤ国家、米欧の支持

戦後のアラブ国家への失望

聖戦も変化 自爆 OK になった

定義しにくいテロリズム

- ・ フランス革命 恐怖政治
- ・ 暗殺→爆弾テロ→無差別殺人→自爆テロ
- ・ ジハード or テロリズム？

現代のテロリズム

- ・ 暴力による殺害、破壊、人質
- ・ 政治的目的一分離独立、体制の転覆
- ・ 心理的
- ・ 違法行為

政治的なイスラーム

「1979 年」

ソ連軍のアフガン侵攻、ジハード

アラブ・アフガンズ = ビンラディン

イラン革命で「革命の輸出」

ヒズボラ ハマス

1972 ミュンヘンオリンピックでのテロリズム→政治的 ※日本人も参加していた

1998 ケニア・タンザニア米大使館爆破

要求のないテロリズム

米欧への憎悪

無差別・大量殺人

自爆・自殺 OK

1998.8 ケニア・タンザニア米大使館同時爆破事件←世界初の同時多発テロ

最近の爆破事件、乱射事件、未遂事件の犯人はアメリカ・西欧で育った
タイムズスクエアの犯人（終身刑に）はアメリカ人として幸せな暮らしを送っていた
なぜあるとき突然過激なイスラームに？

伏線

グラウンド・ゼロにモスク

オバマ大統領、NY 市長は賛成

アメリカ人はなぜグラウンド・ゼロにモスクを建てるのかと反発

しかしイスラーム教徒＝テロリスト、ではない。和解のためにも良いのではないか。

それならコーラン焼いてやるという牧師出現。

文明の衝突なのか？

グラウンド・ゼロにイスラーム・センター？

「ベール」は強制化？信仰の表現化？

イスラーム教は「政教分離」ではない

カリフ国家＝イスラーム教指導者による統治

イスラーム法（シャリーア）＝生活、経済、食事、衣服に至る細かなところまで定めている

多文化型と同化型

多文化型

→イギリス、オランダ、北欧

イスラーム教徒と共存

固有文化尊重

宗教に干渉せず

イスラーム教徒は別コミュニティを形成

同化型

→フランス、ドイツ

習慣・言語を学べ

経済的には放置（イスラーム教徒の失業率は白人よりはるかに高い）

しかしイスラーム教徒や移民には見えない壁

突破した人たちもいる。同化でつかんだ栄光

→フランスのアンリやシダン、ドイツのエジルなど

なぜ暴動？

圧倒的多数の移民は経済的弱者

都市部で失業者として暮らす

未来展望なく、不満を募らせる

イスラーム教とキリスト教

共存はできるのか？

もちろんほとんどのイスラーム教徒はテロリストではない

大半は穏健派、暮らしに順応

若者はなぜ過激思想に目覚めたのか？

経済的要因・社会的要因

社会進出は遅い・失業率も高い

暮らしの不満が社会への不満に

日本への教訓

日本のイスラーム教徒はだいたい7万人ぐらい？ヨーロッパに比べるとはるかに少ないが、これからだんだん増えてくるのではないか。

イスラーム教徒への準備は皆無

パキスタン人、イラン人、インドネシア人、フィリピン人も

「ラマダン」をどうするのか？

1日5回の祈りは可能か？

女性はベールをかぶるのか？

こんな場合はどうしますか？

名誉殺人が認められている

「家族の恥」と派手な妹を殺害した

学校で祈りの時間（ドイツでイスラーム教徒多いところでは導入されている）

イスラーム教徒の女性は顔を見せない→公共の場でこれを認めるのか？

女性のスポーツは、男性が見てはいけない

フランス・ドイツ・アメリカでおこっていることは他人事ではない

中東紛争を知ろう

なぜユダヤ人国家はできたのか？

イスラエル、パレスチナ紛争

米政府の中東政策

常識が通じにくい国

「イスラエルの核兵器開発」

アラブの海に囲まれたユダヤ人国家

国際的な評判より国家を存続させたいと考えている

イスラエルの攻撃は民間人・女性・子供も全く関係ない→非戦闘員の犠牲多い

使っている兵器も白リン弾（一種の焼夷弾）のようなものを平気で使う

「非人道兵器」も使う

白燐弾

クラスター爆弾

非戦闘員を無差別殺傷

国連ガザ戦争報告「戦争犯罪、人道に対する犯罪」

アムネスティは「意図的」だ、と言っている

生存のための戦い WWⅡ 中にホロコースト

600 万人虐殺を生き延びてきた人たちが作った国

自分たちを守るのは自分たちしかいない、という意識

パレスチナの土地でアラブ人から暴力

独立戦争から始まり 4 次につながる中東戦争

レバノン内戦、レバノン戦争、ガザ戦争

→大きなものだけ見ても 7 つもの戦争

鎖のようにつながっている

ナチスの政権掌握

ホロコースト

ユダヤ人が国家建設

中東紛争の始まり

パレスチナ 中東問題の根源

アラブの海の中のイスラエル国家

アラブ、イスラエルは共存できるのか？

共存・承認＝エジプトとヨルダンのみ

未承認＝サウジアラビアとイラク（仕方がないので共存しているだけ）

敵対＝シリア、イラン、レバノンのヒズボラ、パレスチナのハマス

ユダヤ人とは何者か？

ユダヤ教徒＝宗教←人種でのくくりではない

古代ユダヤ人はセム系

ナチスは「人種」と定義

「ユダヤ教徒」とはだれか？

ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教は同じ「啓典の民」

一神教

ユダヤ人離散→キリスト教徒にもイスラーム教徒にもうとまれる

アンネ・フランク、マルクス、トロツキー、ロスチャイルド、キッシンジャー

アフリカ系ユダヤ人、中国系ユダヤ人

現在のユダヤ人

世界中で 1600 万人と推計

米国に一番多い 500～600 万人

イスラエルに 540 万人

ヨーロッパに 200 万人←ホロコーストで減った

大虐殺以前からあった迫害

ボグロム@東欧、ロシア

ヘルツル「ユダヤ人国家」（1896）→第1回シオニスト会議（1897）

英国の3枚舌外交

バルフォア外相「バルフォア宣言」

ユダヤ人国家建設

アラビアにも「フセイン＝マクマホン協定」

フランスとは「サイクス＝ピコ協定」

ホロコースト

なぜ虐殺？

ドイツ人とユダヤ人は宿命の敵
ヒトラーは東欧とロシアを征服しようとしていた
東欧のユダヤ人を抹消
絶滅させ、ドイツ人圏をつくる

虐殺後
元いた国に帰れなくなり行き場を失う
昔の家は他の人が占拠

ユダヤ人自治が発展

「民族評議会」＝国会の役割
民兵組織「ハガナー」＝後に軍隊
国会であれ民兵であれ元々プロではない。作曲家だったり大学の先生だったりした人たち。
極秘テロ組織「イルグン」

国家建設のために英軍追い出し
今でこそテロ批判しているが昔は自分たちがテロをしていた
「キング・デービッド・ホテル」爆破事件 200人以上のイギリス人が死亡
英国は信託統治を維持できず国連に丸投げ
国連はユダヤ人に有利な分割
イスラエル独立宣言
→独立戦争勃発
アラブが四方から攻め込む
辛うじて巻き返した

イスラエルの軍事的発展

なぜアラブを破ったのか？
国会と軍、士気
アラブは分裂していた
アラブ側も独立したばかり、国の基盤もなく
米国の軍事支援も加わって盤石
徴兵制
核兵器開発

イスラエルの核開発

「イスラエル 秘められた核開発」(A Bomb in the Basement)

Tura Communications（イスラエル）2001 年政策
フランスと共闘。イスラエルの核開発を支援したのはフランス
「核兵器保持」で戦争抑止

アラブの復興

ナセル民主主義
王政を妥当して共和国をつくった
社会主義＋民族主義
“目覚めよ、アラブ”
社会主義を唱えていたのでソ連が味方。ソ連圏の国がアラブを後押し
一時シリアと連合
イラクでもバース党（社会主義政権）

第 3 次中東戦争（6 日間戦争）

軍事問題好きには興味深い戦争
イスラエルが先制攻撃をしかけた
エジプト・シリアの待機中の飛行機を上から
周辺地域を一気に占領
エジプトからガザ、シナイ半島
ヨルダンからヨルダン川西岸、東エルサレム
シリアからゴラン高原
このときアメリカはどちらにも加担しなかったが近海に空母配置、戦線が拡大しないよう
に見ていた
アラブ諸国、復讐を誓う

第 4 次中東戦争（1973 年）

今度はアラブ側が先制攻撃
虚をつかれたゴルダ・メイア（女性）政権→一時攻め込まれる
ニクソン政権が軍事支援→結局イスラエル

エジプト：打ち負かせない敵とは仲良くした方が…

キャンプデービッド合意後

ベギン、カーター、サダト
シナイ半島返還
エジプトがイスラエルを承認
エジプトは他のアラブ諸国からボイコット

歴代イスラエル首相はみんな安全保障にかかわっていた
参謀長官、司令官、原子力爆弾開発責任者、外相、民兵組織「イルグン」でテロリスト
現首相ネタニヤフは唯一大学まで出た人、兄を特殊部隊で亡くしている

諜報機関「モサド」はなんでもやる

ミュンヘンオリンピックの人質事件の実行犯、首謀者を探し出して 20 年がかりで殺害
ホロコーストの戦争犯罪人を拉致＋殺害
アドルフ・アイヒマンをアルゼンチンから
パレスチナ人指導者、テロリスト
2010 年 1 月ハマスの指導者をドバイで

ユダヤ人は増え続けている

1990 年代にはロシア系急増
イスラエルではユダヤ人の割合は減っている
現在アラブ人が 20%ぐらい占めている

アラブ VS イスラエルの変質

正規軍の衝突からゲリラ戦争
パレスチナ解放機構（PLO）積極的に都市ゲリラ
パレスチナ難民キャンプ
独立戦争で 90 万人が追われる
その後は難民キャンプで生活 人は増え続けている
現在色々整備されている。学校があったり住宅街になっていたり

世界最大の国連機関

国際連合パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）
United Nations Relief and Works Agency for Palestine Refugees in the Near East
年間予算＝12 億ドル
スタッフ＝3 万人
600 以上の学校、50 万人以上の生徒
こうした環境で「難民」を永続化させている
イスラエル追い出しのために難民を維持したい→UNRWA に大量の資金提供

インティファダ
子供が投石で戦車攻撃など

パレスチナ人とイスラエル軍

占拠の実態

イスラエル軍は恒常的に暴力をふるっている

オスロ合意 テロ中止と平和

ユダヤ人入植地

ヨルダン川西岸に次々と入植

停戦ラインをはるかに越えて西岸に深く食い込んでいる

過激派だけの入植ではない 30万人

荒れ果てた土地に入植、次第に居住地を拡大

新しい開拓地、増え続ける移民に対処

占領地において違法に建設

この入植活動には米国から巨大な資金が流入している

世界中のユダヤ人からの支援を受けてパレスチナ人を追い出している

イスラエル軍に保護してもらったり自分たちで武器持ったり

エルサレム周辺は完全支配へ

綺麗な住宅地 品ぞろえの良いスーパーマーケット

パレスチナ人のインティファダ

素手で立ち向かう

子供が戦車に向かって石を投げる

中には現実にテロ活動も行っている

→イスラエルもなんとかしなければ、と考えた

オスロ合意

テロ中止と平和

クリントン、アラファト、ラビン

それまでイスラエルはパレスチナ人と直接コンタクトをとったことがなかった

Norway が仲介

イスラエルが占領を止める→パレスチナはテロを止める Land for Peace

占領終結＝入植地建設終結、のつもりだった

キャンプデービッドからオスロ

国家間の平和＝イスラエルとアラブ諸国

パレスチナの地（イスラエルとパレスチナ）内での平和

パレスチナ国家樹立への道

「自治政府」を作り、国家への準備

オバマ：“1 年以内にパレスチナ国家を” @国連総会

パレスチナ vs.イスラエル

パレスチナ

中東戦争以前の状態で国家を作りたい

国境＝第 3 次中東戦争時の停戦ライン

首都＝東エルサレム

国民＝パレスチナ難民の帰還を求める

イスラエル

約束与えず、既成事実を作る

入植地を守る「防護壁」を現在急ピッチで建設中

エルサレムは「イスラエルの不可分の首都」

難民帰還はもちろん認めない

新国境？

第 3 次中東戦争の停戦ラインを大幅に越えて防護壁（セキュリティフェンス）

通行不可能 「安全に必要」だとイスラエルは主張

しかしこんなものを作ればこれが国境になってしまう

分断国家

地理的に（ガザ、ヨルダン川西岸）

ヨルダン川西岸：ファタハ（世俗主義）

ガザ：ハマス（原理主義）

全く異なる 2 勢力

ファタハは権力の座に長く、腐敗を批判される

民衆の人気はハマスに

共通の敵イスラエルがいるのにファタハとハマスで内輪揉め→内戦、となっている

イスラエル - パレスチナ間の戦争よりひどい戦闘

なぜイスラエルはこんなに強硬でいられるのか？

国内政治＝右派、強硬派が台頭している

国際政治＝アメリカが味方

敵のアラブも分裂している

リーベルマン副首相兼外相（わが家イスラエル Yisrael Beiteinu）

イシャイ副首相兼内相（シャス Shas）

どちらも極右宗教政党 国会で極右宗教政党の議席数が増加している

ウルトラオーソドックス

国民の10%を占める 70%が失業者 生活保護だけで暮らす

働かず、軍務につかぬ超正統派

聖書の教えに忠実→増え続ける人口

アメリカとイスラエル

イスラエル最大の保護者

中東政策の軸

2008-09 年 ガザ紛争

イスラエルが軍事的に圧倒

死者数は 13 対 1417

アメリカはイスラエルを止めなかった

イスラエルはオバマ政権誕生(09 年 1 月 20 日)まで攻撃を止めなかった

イスラエルに甘いアメリカ

アメリカはイスラエルの入植地建設を止めていない

過去の軍事行動のほとんどを容認

国連や国際機関では、イスラエルに不利な決議に拒否権発動

イランには核開発を止めろと言うがイスラエルには何も言わない

アメリカの拒否権が急激に増えるのは第 3 次中東戦争以降

米国の海外援助の受給トップはイスラエル 毎年 1 人当たり 4~5 万相当の援助

経済支援はさすがに減っているが代わりに軍事支援が増加

なぜアメリカはイスラエル支持か？

現在のアメリカは政権が代わるごとに親イスラエル度が増している

(オバマはちょっと例外 今のところブッシュ政権ほど親イスラエルではない)

イスラエル・ロビーの存在が挙げられる

よくユダヤ票と言われるがユダヤ人は 500~600 万人なのでそこまでではない

アラブ系も同じくらいアメリカ国内にいる

では何が？→圧倒的な資金力 上下両院議員に影響力

共和党のキリスト教右派(ざっと 3000 万人くらい) 徹底的にイスラエル擁護

さらにブッシュ政権内のネオコン

イスラエル・ロビーとは？

最強集団「The American Israel Public Affairs Committee=AIPAC、エイバック」

アメリカ・イスラエル公共問題委員会

あらゆる議員、政治家の行動をウォッチしている

全米で「2 番目に影響力のあるロビー団体」(※トップは年金団体)

どうやって議員を操るのか

シンパには献金、選挙協力

アンチには、対立候補に献金、手紙攻勢、中傷（テロリストに甘い、とか）

政策や議題は AIPAC が発信

イスラエル批判を封じ込める

Anti-Defamation League（名誉棄損防止同盟）がマスコミ、言論を監視

反ユダヤからユダヤ人を守ろうとしたのが発端

いったん「反ユダヤ」のレッテルを貼られると痛い 雑誌などは廃刊へ

日本でも影響

「戦後世界史最大のタブー ナチ『ガス室』はなかった」という記事を載せた雑誌は一発廃刊になった

ネオコンとユダヤ系米国人

ブッシュ政権に大きな影響力

イラク戦争を主張

「フセイン政権を倒せばイラクはイスラエルを承認してくれるのでは」

イスラエルベッタりの政策

軍需産業と深いつながり

対イスラエル支援は軍事支援が主力

米国の国防産業はイスラエルと密接な関係

チェイニー副大統領、ラムズフェルド国防長官

オバマ政権にもイスラエル人脈

首席補佐官（大統領の側近中の側近）はユダヤ人

米国は中東で何をしたいのか？

イスラエルの保護

石油の安定供給

冷戦時代はソ連の影響排除も念頭にあった

「民主化」も最近はあまり言わない

サウジアラビア、湾岸諸国は絶対君主制

＝同盟国。民主化は強要しない

イラン

＝同盟国→1979年の革命後は敵に

イラク

＝敵に

中東和平国際会議

世界三大退屈話のひとつらしい。

米アナポリスで2008年11月

和平交渉再開

進まない

強く出られないオバマ政権

入植地建設はやめろと言ってもユダヤ人は増えているという

和平に障害になるといってもイスラエル国家を危うくする和平は不要といって聞かない

こんなもんだ、というアラブ諸国の諦め

もうひとつ、イラン問題

アメリカは国連中心にイランを絞めあげたい

イラン問題は日欧にとまどい

ドイツ、フランス、日本は伝統的に経済関係が深いイスラエルに対して別に愛着もない

米政府が制裁を口うるさく求める→日本はアザデガン油田から撤退

イラクと戦争 サダム・フセイン

サダム・フセイン

ティクリート出身

徹底的に治安機関を掌握で権力掌握

陰謀が得意、次々とライバルを追い落とした

大学教育は受けていないが頭の良い勘の優れた人物だった

王政であった

ハシム家のファイサル 2 世 3 歳 11 カ月で即位

イギリスが介入していた

王政転覆後は次々と権力の座が交代

カセム→アリフ→バクル

バクルはフセインを副大統領に

フセインはバクルを圧倒 事実上フセインが支配

サダム・フセインの支配

残虐な手法

「誰か自分に歯向かう者があったらそいつを処刑するだけでは不十分、その家族も」

化学兵器・生物兵器も早くから開発

核兵器も開発していたがイスラエル軍の空爆で壊された

アラブ独裁者の時代

ハフェル・アサドも残虐な独裁で統治

1982 年「ハマの虐殺」4 万人全て殺害

政教分離の近代化政策

自分の血縁、家族を徹底的に重要ポストに

イラン - イラク戦争

8 年もの消耗戦

大量に化学兵器を使った戦争

アメリカは当初フセインに肩入れした

（イランよりはイラクの方がましだろう、という考えの下）

核は？

核物理学者シャハリストニ

彼はフセインに核開発協力要請されたが拒否

→拷問、11 年間の投獄

今はイラクの石油相をやっている

湾岸戦争(1991 年)とイラク

湾岸戦争とは何だったか

その後のイラク

開戦までの道のり

1990.8.2 イラク軍がクウェートに侵攻

国連安保理が決議 660,665,完全撤退を求め、経済制裁と海上封鎖を許可

(安保理決議＝国際法)

最初は外交決着を図りながら軍備増強

11 月、国連ナポリが 678, 1991.1.15.を期限とし、“全ての手段”を許可

→イラク戦争と違うのは明確な期限＋軍事行為の許可

アメリカと多国籍軍

34 カ国

NATO 主要国＋湾岸諸国＋韓国、豪州

日本とドイツは WW2 後の制限があったので財政支援

95 万人の兵力を送ることができた WW2 後としては最大

Deadline の切れた翌々日(1991.1.17)から攻撃開始

主役は戦闘機、ミサイル

サイバー戦争、アメリカのハッカーが活躍した戦争

結果はもちろんアメリカの圧勝に終わったわけだが

開戦から停戦まで

「砂漠の盾」作戦 地上軍が入るためにいろんなものをたたき壊した

空爆 10 万回出撃

イラクはたまらなくなつてイスラエル(多国籍軍不参加、宣戦布告もしてない)に「スカッ

ド・ミサイル」を発射 イラク(アラブ) vs.アメリカ・イスラエルにしたかった

イスラエルはミサイル防衛網＝パトリオット

2.23. 地上戦「砂漠の剣」

約 100 時間でイラクを撤退に追い込む

いかにアメリカが中東において強大な軍事力を築き得るかを見せつけた戦争

しかしなぜバグダッド侵攻せず？

このときフセインを叩いておけばと言われているが

国連安保理決議はあくまで「クウェート解放」を指示

イラク、南部シーア派、北部クルド人が反乱の動きを見せ、フセイン政権は放っておいてもつぶれるだろうと判断した

Papa ブッシュの判断 非常に穏健な共和党の政治家 無理やりは好まない、戦争そのものも好きなわけではないしやる以上勝たないと アメリカ軍の犠牲増やすと世論の支持低下 恨めしく思っていたのがチェイニー国防長官

生き延びたサダム・フセイン

国連安保理決議 687 で生物・化学・核兵器一切の製造、開発禁止

688 で北部と南部（反フセインの動きがある地域）にイラク軍機の飛行禁止区域を設定
→主権国家にとっては屈辱的

経済制裁も継続

一番痛いのが石油禁輸

しかし 2500 万人以上の国民が食べていけないので最低限の食料品、衣料品のためなら OK になった（1995 石油・食糧交換プログラム）

これで潤ったのがロシア、フランス、中国企業（→2003 年イラク戦争にこの 3 国は反対）

イラク戦争

なぜアメリカは攻撃したのか

イラクとはどんな国？

9.11 後

ある人たちはすぐにイラク攻撃の話をしていた

ブッシュ大統領は一日中アメリカをうろうろした揚句ホワイトハウスに戻り対応を協議

CIA「犯人はオサマ」

ラムズフェルド「イラクを絡められないか」

→すなわちイラクは主犯ではない この際攻撃してしまおう

計画がなかった国防総省

ヒュー・シェルトン

イラクはおろかアフガニスタンも攻撃計画はなかった

というわけで CIA は隠密作戦を提案

ビンラディンの仕業と早くから断定

アフガンにいるのはわかっていたので工作員派遣

反タリバン勢力をリクルートして結びつき、攻撃目標を洗い出す

その間もチェイニーとラムズフェルドはイラクを視野に入れて考えていた

安保政策を決めるのは

大統領、副大統領、国務長官、国防長官、CIA 長官、国家安全保障問題担当補佐官

ラムズフェルド

プリンストン大学出身

レスリング選手

最年少国防長官(37 歳)

共和党の花形だった

将来は大統領かといわれたが Papa ブッシュと争った

大統領にはなれなかったがインサイダーとして

防衛産業とは深く関わる

レーガン大統領の特使としてサダム・フセインとも会っていた（イラク戦争でイラク支援、化学兵器使用も容認）

チェイニー

国防長官として湾岸戦争指揮

Papa ブッシュ補佐→子ブッシュにもかかわる

国防長官として湾岸戦争を戦った人間としては何か「やり残したこと」→サダム・フセインに敵意

ライス

ソ連研究者 ロシア語ペラペラ

学者として一流だった

ブッシュ家の家庭教師

頭の切れる人間、フィギュア・スケーターでもあり、音楽もできる

パウエル

黒人としてはライス同様かなり出世

ベトナム戦争に従軍

黒人初の統合参謀本部議長

彼の考え方ははっきりしている：犠牲者を嫌う 犠牲のある戦争はしたくない

そのために大軍で圧倒、やる以上早めに引き上げなくてはならない（ベトナム戦争の教訓）

情報機関

ジョージ・テネット CIA(中央情報局)長官

正確さを求めるタイプ

とりあえず 9.11 を誰がやったのかを割り出すことが大事

イラク攻撃に特に何かの偏見があったわけではないが後になんとかイラクとオサマ・ビンラディンを結びつける情報を探せと圧力

国防副長官

ポール・ウォルフォビッツ

学者出身のネオ・コンサバティブ

ユダヤ系

亡命イラク人グループとパイプを持っていた

亡命グループ

アフマド・チャラビ イラク国民会議議長

必ずしも亡命グループがイラク国民に支持されているわけではない

ネオコンに絆

決定的ミスリーディング×2

- ・大量破壊兵器であやふやな情報をブッシュ政権に提供
- ・我々がイラクで政権を取ったらイスラエルを承認する、と約束

ラムズフェルドはトミー・フランクス中央軍司令官に極秘で計画を指示

参謀本部バイパス

開戦時期を寝る

事後承諾

戦争推進派に対する慎重論

パウエル国務長官、アーミテージ国務長官

2人ともベトナム戦争経験者

なぜ反対したか？

→2つの戦争 目標は何か？ 戦後処理に難関 国政的支援を得られるのか？

開戦派

テロ組織を支援

大量破壊兵器を開発

国連介入は不要

単独でも出来る

慎重派

証拠がない

決定的な証拠がない

安保理決議は必要

同盟国が必要

ライスは？

個人的にはラムズフェルド嫌い、対立

(威張り散らすから 女性だとか黒人だとかで色々)

しかし大統領には忠実

イラク関与を疑う

開戦に傾く

ブッシュ自身が早くから攻撃意向

アフガンで成功

親父の代からフセインが邪魔

あまり複雑なことを考えない

ラムズフェルドは「簡単に終わる」と言った

体制転換で中東和平も、と考えた

ブレア英首相の立場

ブッシュ政権を支持

「大量破壊兵器はある」と確信

安保理決議があれば参戦する、としたがブッシュと協議を重ねるうちに、外交努力が失敗すればやむをえないようになった

なぜ慎重論は敗れたのか？

大統領が開戦に傾いた

いったん大統領が決めるとチームプレイヤーとして動かなくてはならない

国務省は甘いといわれ、ラムズフェルドのいる国防総省が主役に

イラク攻撃を正当化したもの

安保理決議は出なかった（フランス、ロシア、中国がいる）

9.11 同時多発テロ直後の恐怖

テロ組織との結合が怖い

地域大国の脅威＝イスラエルのライバル

湾岸諸国＝石油はどうなるのか？

大量破壊兵器

経済的利害＝石油、ゼネコン、これを機会に戦後利益を得ようとした

米国の誤り

シンセキさん

several＝5 以上

攻撃前から超高

フセイン打倒後のシナリオなし 亡命グループに任せる？

イラクに対する無理解 確たるイラク情報が過去 20 年ぐらいなかった

大量破壊兵器、アルカイダの誤認

そこへ亡命グループの誤った情報・宣伝、流された

占領軍として振る舞い、イラク人を誤認、歓迎されると思っていた

各国はブッシュ政権と近いかどうかで参戦を決めた→ブッシュの戦争

参戦した国の Top→次の選挙で負けた

反戦のフランスのシラク、ドイツのシュレーダー、ロシアのプーチン→次の選挙で再選

イラクという国

人工国家という理解

メソポタミア文明発祥の地ではあるが遺跡はあまり残っていない

(その後やってきたイスラム教徒や今の人たちがいろんなもん建ててるから)

ペルシア帝国の名残でシーア派も残っている

北部にクルド人(国家を持っていない最大の民族)

北部 Mosul(クルド), 中部 Baghdad(スンニ), Basra(シーア)

英仏分割

人工的な線引き

多数派シーア派を少数派スンニ派が支配

イラクには3グループ

北部にクルド人 15-20%

アラブ人 80%

このほかトルクメン人など

シーア派アラブ人 50%

スンニ派アラブ人

クルド人(スンニ派)

} ここは行動を共にはしない

イラク崩壊

誰が倒したフセイン像? 軍が協力 完全にプロパガンダ

シナリオがなかったアメリカ政府

国防長官は「早期撤退」

後事は「国際治安部隊にまかせる」→立ち消え 治安維持には不十分だった

誰が行政の面倒をみるのか? 住民とコミュニケーションするだけの通訳は? イラクを知っている人は?

実情無視

ジェリー・ブレマー

極めて単純にドイツや日本と単純に比較、同様に統治しようとした

何が違うか

ドイツと日本は終戦時の識字率 99% 対してイラクは 6 割程度

比較をするだけの理由は若干あったが…

「バース党员追放」 ナチス解散、日本軍解散のようにイラク軍解体

日本は上手くいったがイラクでは武器を持った失業者 30 万人

最初は略奪から始まった

国連を追い出す 国連がイラクに入ったが標的→国連は手を引いた
アメリカは1人でやらなくてはならなくなった

イラクの武装勢力とは？

ザルカウィ

アルカイダが広まることに（つまりアメリカ軍がアルカイダを招き入れたようなもの）

テロ激化 死者数も年々増加

フセインを捕獲したが残党を一掃することはできず

なぜアメリカは誤ったのか？（重要！）

フセイン政権打倒後のシナリオなし

イラクについて無理解

大量破壊兵器、アルカイダの誤認

亡命グループの宣伝・誤った情報に食いついてしまった

シーア派暗殺部隊

バヤン・ジャブル現財務相

現在イラクではどの大臣の下にも自前の軍隊がある

イラクの宗派対立

普通の一般人がお互いに殺し合っているという単純なものではない

フセイン政権はスンニ派

少数派のスンニが力でシーア派を弾圧

政権崩壊後はシーア派が反撃

スンニ派も民兵組織

シーア派の民兵組織「バドル集団」「マフディ軍」

アメリカ政治と 2010 年中間選挙

何がこの国で起きているのか

オバマの敗北

フランクリン・ルーズベルト時代以来の大敗 WW2 後例のない負け方
下院を失い、上院もギリギリ
大統領選挙の鍵となる（＝激戦となる）州でことごとく大敗
ちなみに知事選もぼろ負け

悪いニュースの中で・・・

2010 年投票率は 41%←2008 年は 63% 2300 万人が投票せず
→だからこの結果がすぐ大統領選に結びつくわけではない

オバマはなぜ支持者を失望させた？

経済再建が彼の最大のマンデートであった
“CHANGE” 何か仕組みを変えてくれる
中産階級に「なんとか変えてくれ」と託された
黒人や若者からの支持

何もしなかったわけではない

景気刺激策、金融機関救済、失業対策、金融規制改革、医療保険改革、米露核軍縮条約…
→これらは効果がなかったのか？
オバマがやろうとしたことはあまり所得の高くない、普通の人を助けるためのものだがなぜかブーメランのように戻ってきた。反感を持つアメリカ人も多い。

経済全体は回復している。

経済危機の元凶である GS などの投資銀行・金融機関はがっばり儲けてすっかり肥えている。∴相場が荒れているときはチャンスでもある。

しかし失業率が下がらない。全米平均 9.6% (August 2010)

40 年前は 26.5%が Manufacturing Jobs 今は 9.25%

アメリカの製造業は少ない人数で同じ、あるいはそれ以上のパフォーマンスができるようになった。→製造業での雇用減少

そのかわり台頭したのが金融

Jobless Recovery 雇用なき回復

経済そのものは金融のほうで回復、しかし大規模な雇用創出が見込まれるのは製造業
従来の経済先進地域（製造業）ほど失業率高い

Ex.デトロイト

GMがあった 大きなビル 今は使われていないがあまりにも立派なので歴史建造物に
黒人がたくさん、移民がたくさん

“MOTOWN” motor town

アメリカを代表するスターはここから （マイケルジャクソン、スティーヴィーワンダー
etc）

今現在デトロイトの真ん中はゴーストタウン状態 毛が抜けた頭のように家がぼつぼつ
あまりにも何もないので農業をする人々

なぜビッグスリーは敗北したのか？

ビッグスリーはあまりにも大きくなったのでアメリカ政府に影響力を持つようになった
ビッグスリーに都合の悪いことはやめるように政府に圧力、政治介入で日本に圧力

小型車で乗り遅れ、エコ対応で乗り遅れ

スリム化、人員削減で黒人中産階級に打撃

中国からの輸入は増えるばかり

有権者には何が起きているのかあまりよくわからないまま製造業が落ち込んでいる

有権者は何を考えたのか？

有権者はメッセージを送りたかった：私たちは困っている

何もしない大統領は嫌だ

体感できなかった景気回復

差し押さえ（FORECLOSURE）増加 家がなくなる

日本では比較的法律で住んでいる人をギリギリまで保護するが、アメリカはすぐ家を差し
押さえる

多くは実際にはブッシュ時代のバブル清算

今回オバマが負けた中西部やフロリダで差し押さえ多い

アメリカ人は借金だらけ

平均賃金下がっている

職がない人だけではなく職を持っている人の賃金もさがっている（ただし日本はもっと下
がっている）

支払い遅れが 15%近く、借金は増え続ける
自分の年収と同じ借金（ちなみに日本はもっとひどい）

アメリカン・ドリームの終わり？

中産階級に深刻な問題が起こっていると考えた方が良さそう
「移民でも、難民でも、この国では努力すれば豊かになれる」

技能（工場）、教育（大学）

しかし中産階級はこれができなくなってきた

機会がない、だれでも豊かになれる時代ではなくなった

学生は借金まみれ 奨学金・ローンが発達 3 分の 2 が借金 平均 2 万ドル 院生は 10 万以上も 返済できるのか？

中産階級は所得が下がっている

貧困増加の指標

「フード・スタンプ」が 4000 万人

貧困層は 14.3%

オバマ政権の救済策が間に合わないし、貧困者救済策そのものが難しい

国も、自治体も、個人も赤字 ちなみに貿易も赤字

しかし連邦政府の赤字は問題なのか？

カーター移行の政府はクリントン時代の一時期を除き大体赤字が続いている

そのうち解消する、というのがみんなの楽観的な考え

2012 年までの課題

実績の積み上げ

民主党地盤の危機

いきなり変えることは難しいが、何か変化の可能性や兆しを、若者・黒人・女性といったオバマさん本来の支持者に体感してもらわなくてはならない

アメリカの保守化

どこからはじまったのか？どこへ行くのか？

ティーパーティーとは何者？

「変な人たち」なのか？

クリスティン・オドンネル

デラウェア州から上院へ

変な発言が多い「魔術を信じる」

経歴詐称が明らかになってきた「プリンストン大学」「オックスフォード大学」

数多くの借金

→敗北

シャロン・アングル

ネバダ州 民主党の大物と対決

何でも反対 州議会議員 41 対 1

国連からの脱退、教育省の廃止を公約

→敗北

ジョー・ミラー

湾岸戦争時に戦車隊長

アラスカ州上院

人工中絶に反対 実践して 8 人の子供

米国民はどう見ているのか？

Do you support the Tea Party Movement?

Yes 19% No 63% Don't know 18%

共和党支持者の間では「考えに賛成」71%（9月）

支持者は平均より教育の程度などが高い

アメリカで社会問題と言えば

人工妊娠中絶の是非

同性愛の「結婚」を認めるべきか否か

ダーウィンの進化論を認めるべきか否か

この3つはキリスト教右派の人たちが一生懸命訴えている

→「教育」を国家が管理すべきではない

犯罪者は収監すべきか更生させるべきか→収監（アメリカ人はあまり更生を信じていない）

銃規制の是非

キリスト教右派の影響力

3000 万人の有権者

旧約聖書・新約聖書を大変重んじている

「創世記」＝進化論と矛盾 進化論を信じない人が多い

セックス、中絶、同性愛といった個人の問題に裁判所や政府が介入してくるものだ、という考え

「小さな政府」 ※一般的な意味ではない

国際機関に懐疑的になる

バイブルベルトは南部にある（オバマ vs. マケインのときにマケインがとった地域）

南部を舞台にした公民権運動 南部の白人たちは未だにこれを認めていない

公民権運動と南部

南部は元来民主党が「一党支配」

共和党はリンカーン創設

公民権運動が南部から盛り上がる

テキサス選出のジョンソン大統領（民主党）が公民権を法制化

1970 年代から共和党が強くなってきた

南部白人は黒人に懐疑的

犯罪者＝黒人、的な考え方 更生の可能性を認めない

黒人収監人口は白人より高い

人種が違えば「更生」にも冷淡に

犯罪者には厳しく当たれ、という保守的な考え方

アメリカの収監人数は中国のそれより多い

刑務所も急増中

10 万人に 700 人が収監

20 人に 1 人の男性が一度は収監経験 黒人は 5 人に 1 人

銃規制にも絶対反対（ロビー団体がついている：ナショナルライフル協会）

共和党主流は？

財政健全化、減税、雇用創出、政治への信頼回復

何を削るか具体策なし

ド外れてできない公約 by New York Times

本当に活躍した人たち

ブッシュ大統領側近中の側近だったカール・ローブ

メアリー・チェイニー（チェイニー副大統領の娘）

「アメリカン・クロスローズ」

特定の政策を支援

ビジネス界の資金の受け皿

アメリカの広告は今大変質の悪いものが出回った

特に中国関連の話は針小棒大、ここまで飛躍していいのかというぐらい

Ex.景気刺激策の風車

実は中国で作った→景気刺激策に賛成した議員は全員中国の手先だ！

アメリカの政治資金規制

連邦選挙委員会（FEC）

献金できる団体、透明化

大企業は政治に強い関心

エネルギー業界＝温暖化ガス削減反対

自動車産業＝環境政策

保険＋製薬＝医療保険改革に反対

金融業界＝金融規制改革に反対

保守派に潤沢な資金流入

オバマでなければ勝てない

ブッシュはケリーを 300 万票差で破った

共和党は 200 万票しか減らさなかった

民主党は 1000 万票上乗せした

なぜイラクから撤退するのか

オバマはもともとイラク戦争に反対、私ならそもそも戦争しなかった、と

重荷が大きいのに利益が少ない

4400 人以上の米兵死者 巨額の戦費(3 兆ドルとの試算)

直接の戦費は 7000 億ドル、戦前は 2 年間で 1000 億ドルと言っていたが…

議会調査局は 2 兆 4000 億ドル、スティグリッツは 3 兆ドル

もはやこのレベルだと儲かるビジネスではない 本来戦争は軍需などで儲かるものだが
財政赤字が増え、経済に大打撃を与えた

負傷兵のケアだけで 3500~7000 億ドル、との試算

→イラク戦争支持は激減（開戦時は 7 割だった）

2006 年中間選挙ではブッシュも大敗 30 議席以上も減らした

彼は経営的な視点で支持回復を図り、ラムズフェルド→ゲーツ、に
（→ラムズフェルド vs. ライスも終結）

イラク戦争の建て直し

ペトレイアス司令官 特殊部隊を率いた経験

増派作戦 大した数字ではないが 2007 年、2 万人以上

本来そんなに効果が出る数字ではない

まず全土に広げないでバグダッド集中 拠点集中

目に見えた効果としては米軍死者の減少

あるトリックを使った

：イラク人の「自警団」

スンニ派の武装集団 反アルカイダ系 10 万人規模 つまり 10 万人の部隊を使った

実態はテロリスト、ごろつき 武器などを渡して組織、アメリカ軍側で働かせた

その他にも民間軍事組織 多くは軍の OB

簡単に言えばお金を払って戦争してくれる傭兵集団

北部のクルド人地区はクルド人にそのままおまかせ

独立傾向 自衛も

フクレアガルクルド民兵 兵員 20 万人以上に 近隣警戒

イラク政府の歩み

ブッシュ政権がイラクに残したものはイラクの民主化（？）

連合軍の占領終了

2004 年、暫定政府

2005 年 1 月、最初の制憲議会選挙

2005 年 10 月、憲法を圧倒的多数で採択

2005 年 12 月、国会議員選挙

1 年間で憲法制定から国会議員選挙までやってしまった

国会議員選挙はスンニ派がボイコットしたこともあってシーア派が多数

半年かかってマリキ首相が 2006 年 5 月就任

彼はイラクの政治家の中ではインテリと見られている アラブ文学修士号

シーア派政治活動 フセイン政権下で死刑判決→シリア、イランに亡命

アメリカ的には良かったのか？

→あまりにもイラクが混乱していたので安定政権なら誰でもよかったが…

新しい独裁者??

カネを持つものが兵力を持つ 特殊部隊 首相直轄の兵力 反対派を排除

警察官が逮捕された？

元市町がニューヨーク・タイムズに寄稿

すべての省庁、政党が自前の治安機関を持っている

シーア派、スンニ派、クルド人

米国だけで毎年 40 億ドル

2003-2009 年で 490 億ドル

日本は米国に次ぐ支援国 05 年に 35 億ドル

ちなみにイラク人の 1 人当たりの国民所得は 2600 ドル

強力なシーア派

ムクタダ・サドル師 マフディ軍 一時マリキ首相と喧嘩してとめられていた

日本の自衛隊@サマワ

自衛できず、他国軍からの保護を受けていたのであんまり何もできず撤退

イラクはどうなる？

米軍は来年 9 月に 5 万人

民兵・省庁の非武装化は不可能

州は構想は抑えられるのか？

イラクは「連邦」を維持できるのか？

バグダッドをどうするのか？石油をどうするのか？

2010 年選挙

住民はほぼ自分たちの宗派通りに投票 小党分立

7 か月たっても政府ができない

来年末までにアメリカ軍はいなくなるが大丈夫なのか

アメリカは切り替え早い なるべく早く忘れようという方向になるのではないか

イラク国民は何を得たのか

圧制者がいなくなった

初めての選挙 議会政治 民主化（？）

しかし

戦争後の死者は 10～15 万人

家を追われた難民は 400 万人以上

サダム・フセインという重しがなくなったために宗派対立が先鋭化

ビジネスが最も難しい国になった（by 世界銀行のランク付け）

一番得をしたのは影響力を増したイランか？

中東は民主化できるのか？

王政と共和制

Ex. シリア、イエメン、エジプト、リビア

同じ人、同じ一家による長い政権

イスラームと西欧民主主義

政治と宗教は不可分

権力のチェックが難しい

女性の政治参加は？

多くのイスラーム圏はあまり人権について配慮していない 少数派、報道の自由、拷問

暴力で決着をつけようとする

これに対し西欧型民主主義は

政教分離、三権分立

女性の貢献が大きい 女性は概して穏健

教育水準も高く、中産階級も育っている

マスコミのチェック、少数派からも貢献

市民社会

最終的には法律でカタをつける法治国家

アメリカの思い通りにはならない

2006 年のパレスチナ評議会選挙では反米・反イスラエルのハマスが勝利

民衆感情は反米・反イスラエル

アメリカが民主主義をやろうとすると逆にブーメランのようになってかえってくる

イラン

2009 年騒乱は何を物語るか？

30 年前の革命は大きな出来事だった

革命後に生まれた若者は現体制に不満 何が問題なのだろうか

イランと言う国を理解する

イラン人は大変自分の国に誇りを持っている

栄光の古代史

屈辱の近代史 } このへんは中国と同じ

イスラーム圏の中で、独自の言語や文化 唯一のシーア派の国

革命後の政治体制は「民主政治」か？

核開発で何をしたいのか？

ペルシャ、アラブ、トルコ

中東・中央アジアの三大民族 印欧語族、セム語族、アルタイ語族

聖典コーランを共有

イラン系 1.5~2.0 億 アラブ系 1.8 億 トルコ系もそのくらい

イラン国内は多数の民族

イラン人 51%

アゼリ人（アゼルバイジャン系＝トルコ系）26%

栄光の古代史

イスラーム教の到来

ウマイヤ朝 7 世紀

サファヴィー朝 国として初めてシーア派を国教にした

シーア派とはどんな宗教か？

殉教を自ら体験することが大変重要な宗教

アーシュラー（アシュラ）

3 代フサインの殉教をしのぶ

2 億人？ 総本山はもちろんイラン

12 イマーム派

12 人のイマームがいたことを信じている

最後は「お隠れ」になった→多くのイラン人は現代にあらわれると考えている

救世主が現代に登場する可能性

ペルシャ文明

屈辱 ロシア・大英帝国に挟み撃ちに遭う 特権を与えて勘弁してもらう

WW2の間は補給路 米国がソ連を支援するルート

テヘラン会談も会場として使われただけ

これだけの屈辱から生き返ったのは石油のおかげ

しかしそれも最初は British Petroleum の起源、アングロ・イラニアンから

イランの実力は

第2位の埋蔵量 天然ガスも第2位

潜在的なエネルギー大国

しかしそれをイギリスに持っていかれてはどうにもならない

流れを変えたのがモハンマド・モサデグ首相

首相就任後に石油国有化法を可決

それまでアングロ・イラニアンは石油掘り放題だった

困り果てたチャーチルはアメリカになんとかしてくれと頼んだ

→CIA 企画のクーデターでモサデグを倒した

シャー親政

ムハンマド・レザ・パフレビ

2代目 米国のお膳立てで政権に

「白色革命」＝近代化

しかし彼は偉大なる勘違い男

自分は才能があって国民から愛されていると思った

革命をやってくれたのはアメリカだということをすっかり忘れ

古代の栄光

莫大な浪費 ←オイル・ショックで収入が大幅増

↓

シャーは嫌われた

石油収入を独占

イランの実情に合わない「西洋化」

米国頼りの政治

「SAVAK」を使った恐怖政治 拷問などを包み隠さず公表していた

聖職者まで弾圧し、国民の怒りが一気に高まった

アメリカの対応は中途半端

このときはカーター政権

人権外交「シャーのやっていることは人権侵害以外の何物でもない」「拷問をやめろ」

しかしデモ発生後、「力を使え」（ただしカーターが責任を取るわけではない）

民衆もバカではないのでシャーの背後にアメリカがいるとわかり、ますます反米へ

万事休す、シャーは国外へ

そこで登場する（というか帰還する）のがホメイニ

反国王、反アメリカを貫いた

自分は指示を出していたが国外に追放されていたのでなんとなく殉教者的イメージ

300 万人がホメイニの帰りを出迎えた

（ちなみに 2010 年 W 杯スペイン帰還の出迎えは 200 万人）

秘密警察は民衆によるリンチ・殺害

首相をはじめ政治家の何人かも革命後に処刑された 陰惨

何が駆り立てた？

世界史上空前の民衆参加

フランス革命は 2%、ロシア革命はせいぜい 1%だったのに対しイラン革命は 10%の国民
が何らかの形で革命に参加（デモとか）

イスラーム教の宗教心

ホメイニとは何者か

第 7 代イマームの末裔と自称

元々はイスラームの法学者

20 世紀、現代政治、国際政治をどれだけわかっているかは謎

しかし反米・反国王を貫き支持を得る

1964 年、国王によってイラクに追放され格が上がった

テープ流入

革命の輸出

イラン革命

米国大使館占拠事件

1953 年クーデター 背後にアメリカの存在

国王を支援していた

イラン国民的にはアメリカは国王の圧政を支持、打倒国王にはアメリカから

アメリカ大使館は CIA の巣窟だと思っていた

イラン暫定政権はどうか？

革命に参加した皆が皆イスラーム国家を作ろうとしていたわけではなかった 左派も

バザルガン首相 }
ヤズディ外相 } むしろ穏健派

ホメイニ師は学生支持へまわった

国王がアメリカを出国しても、亡くなっても学生の大使館占拠は続いた

カーター政権はどうか

情報もコネもなし

とりあえず国際法を守れと言ってみたがそんなことを聞く人たちであるはずもなく

→軍事オプションをとる…？

機密文書は全てシュレッダーにかけていたがイラン人は人海戦術を使い全てつなぎ合わせ
た 大抵はどうでもいい会計のものなどだったが 後に出版

カーターは全く人質を解放できず、全く見込みのない軍事作戦をやろうとし、失敗した

このイランとアメリカの対立を利用したのがサダム・フセイン

アメリカとイランの仲が悪いうちにイランに攻め込む→これがイラン・イラク戦争へ

全面的に屈服

アルジェリア仲介で交渉

イランの資産凍結・通商制裁を解除

内政不干渉を約束

(大使館占拠に関わったイラン人を訴追しないと約束させた)

さらに人質はカーター政権が終了した直後に解放するという意地悪

その後の学生たちはいずれも国会議員や政府高官にまで上り詰めた

マスメフ・エブテカルという女性は学生のスポークスマンから副大統領へ

人質事件が残したもの

米国とイラン革命政権は敵対関係に

イラン革命政権「反米」を求心力に

政権内ではホメイニ師に絶対的権威

革命を輸出

アメリカにとってもイスラエルにとってもイランは脅威に

苦闘-イラン・イラク戦争-

1980年、イラクが攻め込む 8年間続いた
この戦争ほどみんな「両方負ければ良い」と思ったものはない

イランでは大統領が一番偉いわけではない
最高指導者 ホメイニ、ハメネイ

革命は変質

革命防衛隊が権力の中心に膨張 暴力装置

国会議員の3分の1 アフマディネジャドも彼らの信任を得ている

軍事産業を掌握 核・ミサイル開発

120億ドル、100社以上を支配

↓

民主主義後退

↓

改革派登場

モハンマド・ハタミ 1997年の大統領選挙で7割の得票

ホメイニ・ハメネイの宗教政治は非常に厳格だったがそれを緩和

米国にもシグナル 9.11後のキャンドルライト集会 アメリカのこと考えてるよ的メッセージ

改革派とは？

報道・表現の自由

女性の権利

西側との関係改善

アフマディネジャド登場

2005年の大統領選挙で圧勝

過激派学生としてイラン革命に参加

テヘラン市長をしていた

ホロコーストはでっちあげ、など過激発言

締め出される女性たち

厳しい監視、服装制限

2003年、イラン人女性シリル・エバディにノーベル平和賞

イラン初の女性裁判官だったが革命で失職、人権活動家

本当はどちらが勝ったのか？

アフマディネジャドとホセイン・ムサビ（←元首相 改革派）

62.46%対 33.87%という数字に対し多くの人がインチキだと感じた

“Where is my vote?”

現体制の陰湿で非民主的体質

抑圧装置として暴力を使っただけではなくて、実際に収監されていた若者たちに対する暴行・拷問・レイプ

本人たちだけではなくデモ参加者の家族にも圧力

殺害した活動家の周辺人物に嘘の声明を出させようとした

イランの若者にとって政府は嘘と欺瞞で固められたもの

↓

若者の不満は蓄積、世界一の麻薬普及

国民の潜在力を発揮できない

国際社会からは締め出されたまま

イスラエルがイラクの原発を空爆 シリアにも

ではイランの核施設も空爆するのだろうか？

→あまりに大がかり

イランは本気なのか？

ウラン濃縮技術

IAEA（国際原子力機関）に長年虚偽報告

国連が制裁を加えたにも関わらず方針を変えず

コム近郊に秘密の濃縮施設を持っていることが発覚

イランの真意を探る

イランとフランスの間に何が？

国王時代の前払い金・債務は返還

仏核開発会社のイラン保有株も認める

フランスは核開発の技術供与にも応じたのか？

イランを甘く見るな

五十嵐一（ひとし）筑波大学助教授 イラン研究者

「悪魔の詩」翻訳者

1991.7.11. 学内で殺害される

核拡散を防止するには

核分裂を起こすにはウラン 235 かプルトニウム 239 が必要

どちらも天然にはほとんど存在せず

ウラン濃縮か、使用済み核燃料からプルトニウムを抽出するか

なのでウラン濃縮を自前でできる国に疑惑

核兵器の拡散

アメリカ 1945.7

ソ連 1949

英国 1952

フランス 1960

中国 1964

インド 1974

パキスタン 1998

イスラエル 1960

北朝鮮 2006

戦前ドイツにも計画はあった

戦前日本も研究はあった「二号研究」

国際的な核管理

アメリカ・ソ連は次の核保有国となるのは日本やドイツだろう、と

核兵器拡散防止条約（NPT） 1968 年調印 1970 年発効 180 カ国が調印

NPT は潜在的に日本やドイツを意識していた

第 1 の柱：核兵器・技術の譲渡禁止

第 2 の柱：核保有国は削減見座主

第 3 の柱：平和的利用

国際原子力機関（IAEA）

止めた（廃棄した）国→南アフリカ 1979.9

開発をしたときは白人政権だった 有事（周りの黒人政権に攻め込まれた時）に備えて

途中で止めた国→スウェーデン、リビア

持っていたのに諦めた国→ウクライナ、カザフスタン、ベラルーシ

結局核兵器は持っても使いようがないのにそこに多額のお金と研究者をつぎ込むことは
はないという判断 止めれば平和的開発を援助という餌付き

IAEA は何ができるのか？

1957 年に創設

核兵器の移転や開発がないかを調査

疑わしい施設には査察

国連総会、国連安保理事会に報告

2005 年にノーベル平和賞

核兵器を持っている国は必ず先行国に助けられている

イスラエル：フランス

イラク：フランス

イラン：フランス、アメリカ、ドイツ、ソ連

北朝鮮：パキスタン

イランや北朝鮮が本格的に核開発を進めるのならそれを助けるのか？

開発する国の規模がどんどん小さくなってきている コストダウンによる

最初のマンハッタン計画では 13 万人、220 億ドルを動員

オバマは核削減ができるのか

「私が生きているうちは無理」

先にお前がやれ、をどう納得させるか

イラン、北朝鮮には対価が必要

北朝鮮には食糧・経済支援

イランに対しては経済制裁解除ぐらいでは動かないだろう

軍事オプション？

対話路線に効果が見えない

軍事行動は避けたいのでたぶん当面軍事オプションはないだろうが…

クリントン政権時代には「封じ込め」政策 しかしあまり効果なし

事態打開は「グランド・バーゲン」＝包括提案

経済制裁解除に加え国交を開き、国際社会を巻き込まないと

石油

中東に押し寄せた国際資本

1908 年 イランで発見
1927 年 イラクで発見
1932 年 バーレーンで発見
1938? 年 サウジアラビアで発見

それぞれ産油地域で1つの会社がだんだん権益を握るようになった
アメリカ→スタンダードオイル（今のエクソンモービル）
インドネシア→ロイヤルダッチシェル
イラク→フランスの会社（トタル社）
イラン→イギリスの会社（今の BP）

サウジ王家とアメリカ外交
サウジの起源
「サウド家のアラビア王国」
アブドルアジズ・イブン・サウド
60 人でスタート

アブドルアジズ
サウド王家は過去 2 度失敗
クウェートに亡命
1901 年、22 歳で投手に
巨軀、カリスマ
妻は 22 人以上？
子供は 50~200（ほんとにわからないらしい）

なぜサウジの王族が特別なのか？
→カーバ神殿を治めているから
メッカとメディナの太守
ハッジ（巡礼）の到達点がメッカ
イスラーム教徒の義務
巡礼者は増える一方
サウジ国王に特別な地位
国政伸長は石油資源の発見後

サウド王家とワッハーブ派

厳格なイスラーム教

ワッハーブがサウジの王家と同盟を結び戦士軍団「イフワーン」

アメリカとサウジアラビア

サウジは石油提供、アメリカが守る 石油と防衛の交換は現在も続く
共通の利害

→共産主義に反対 ソ連が中東に勢力伸張してきたときはサウジが防波堤
湾岸防衛

英国撤退後、湾岸産油国防衛を引き受ける

イラク、イラン、アフガニスタンを睨む

サウド国王

1953-1964

10代から戦い 行政官としてはダメ 近代的君主ではない

53人の息子、56人の娘

結局64年、弟に権力を奪われる

↓

ファイサル国王

1964-75

兄とは対照的に10代から外交舞台 ヨーロッパにも行ったことがあり世界を知っていた
即位するや否や近代化推進政策 急速な近代化

サウド王子を排除

石油戦略

石油戦略

アラブ産油国が中心に「石油輸出国機構」

中東戦争で「米欧がイスラエルを助けている」

団結した中東産油国

シャー、ファイサル、カダフィ

産油国ではないがエジプトのサダト、シリアのアサドも

ナショナリスティック

OPECは何をしたのか

原油価格の決定権をメジャーから奪還

石油カルテルとして機能、原油価格を大幅に値上げ

輸出を禁止

1 回目：1967 年の第 3 次中東戦争で禁輸 このときはあまり効かなかった（6 日間で終わったから）

2 回目：1973 年の第 4 次中東戦争で「オイル・ショック」

Seven Sisters の支配→国営石油会社の台頭

ちなみに現在有力な石油会社 New Seven Sisters

インドネシア、ベネズエラ、ブラジル、サウジアラビア、中国、マレーシアの企業

全て新興国の企業である

ファイサル暗殺後、ハリド国王が軽傷

1975-82 年

1979 年に 2 つの衝撃

→イラン革命とメッカ占領事件

このころからサウジアラビアの急激な社会変化

人工急膨張＋都市化

石油依存経済

予算の 75%が石油収入

所得税は無い←石油収入は王家のものだから関係ない

GDP の 45%が石油収入だが石油関連産業を含めると半分以上だろうと思われる

ハラム・モスク（メッカ）占拠事件

1979 年 11 月 20 日、若者 500 人

「ネオ・イフワーン」を名乗る人たち 宗教的に大変原理主義的な人たち

これはサウジ的には衝撃だった 自分たち宗教的権威に対する挑戦

カトリックの会社がバチカンを占領しているようなもんだった

フランスの特殊部隊に力を借りた（現在でも秘密にしている）

12 月 4 日制圧、武装集団死者 75 人、鎮圧側の死者 60 人

残った武装集団を公開処刑

サウジとはどんな国家なのか？

絶対王政＝国王の独裁

国が豊かになるにつれ国民の不満もいろいろ

所得税はないが王家が富を独占

仕事をしていない若者が多く、失業率 20%

若者は運転手やウエイターの仕事をしたがらない

そのような仕事はパキスタン、インド、バングラデシュなどからの外国人労働者

ビンラディン家

元々の家はイエメン、不毛の土地 中東でも貧乏国筆頭

産業はおろか農業もあまりできない

文字は読めず

サウジに出稼ぎ

モハメド・ビンラディン

15 歳から石工に 正式な教育を受けず

「建設会社」

王家とのつながりを比較的早くにもった→王家からの注文

「ノーと言わない男」 わからないことは人にやらせる 契約をとりできる人を探す

ちなみにイスラエルの神殿をつくったのもこの人

経営の才能があった サウジの近代化に貢献

大家族だった

モハメドは 25 人の息子、29 人の娘の父

ウサマはだいたい 17 番目とされている 彼の生まれた年に計 7 人

お父さんを知らずに子供時代を送る

サウド王家も 50~200 人の王子・王女

ビンラディン家は上流階級

レバノン、カイロや欧米で教育を受けた子供たちも

長兄サレム・ビンラディン

英国留学中に父親が死去

学生で当主に

プレイボーイ、贅沢、パーティー好き

王家も同じなのでサレムの周りに人が集まってきた

ビジネスはしっかりやる

飛行機乗り→最後は飛行機事故で亡くなったが

ウサマの教育

米英の寄宿学校には行かず

リヤドの学校で原理主義者（もともとムスリム同胞団）の先生がいた

宗教的人間に 早くから「敬虔な男」として通っていた
メッカの事業を任される

アフガニスタンでの「聖戦」
アメリカ、サウジ当局も支援
ウサマを家族も支援 「非常に誇り」 資金援助を惜しなかった

サウジアラビアの人たちは急に金持ちになった
お金をどのように使えば良いかよくわからない
宗教上の義務があるから寄付をする

このころは反アメリカではなかったが
1990 年、湾岸戦争でアメリカ軍がやってきた
メッカにアメリカ軍が乗り込んでくるなどありえない
当時のサウジ外相に直談判したらしい

スーダンに移る
インフラ整備 投資を実施 数千人を雇用 「テロ会社」とも
ビンラディン家の事業は健在
サレム、サウジ王家に食い込む
サレム自身がぼんぼんなのでそのような人が何を好むか知っている
王家の注文はますますビンラディン家に集中

経営手腕とアルカイダ
ウサマなくしては 9.11 はできなかった
テロリスト集団の「経営」
資金の重要性を認識し、集金も請け負う

所在不明のオサマ・ビンラディン

どこへ逃げた？
2001 年、トラボラ
しかし米軍はたったの 100 人 やる気あるのか、という話
で、ビンラディンはパキスタンの FATA (Federally Administered Tribal Areas) へ
その後アメリカは放っておいたのか？→単に見失った
イラク戦争もあったので手が回らず
パキスタンとアフガニスタンの国境は簡単に越境できる 誰かが警備するでもなし

FATA：部族地域 アフガニスタンと近接 パシュトゥーン人

ビンラディンに親近感を持つ人たち かくまわれているのでは？

米軍攻撃

その後登場したのはビデオメッセージのみ(2004,2007)

2004 年はひげが白かったが 2007 年は黒かった

イスラーム的に染めるというのはあまり考えられないので影武者？

CIA は本物だとしているが…

(新たに公開した写真はまさかのスペイン国会議員やってた人w)

ビンラディン家はどうなった？

商売はさらに拡大

サウジのテーマパーク（構想）もビンラディン家が受け持っている

サウジとウサマの歩み

奇妙ながら同じような歩みを取っている

急激に近代化、富裕になった

サウジの多くの人が豊かになってどうすればよいかわからなくなった

ウサマはテロへ

新しい環境・世界の舞台

イスラーム教への回帰

アメリカ、サウジ、アフガニスタン

なぜこの国に集まったのか？

「オバマの戦争」

オバマ大統領の決断

アフガニスタン 3 万人増派決定@2009.12.1

米軍合計は 10 万人に

西欧諸国も 5000-7000 人増派

2011 年 7 月をめぐり撤収

なぜオバマは戦っているのか？

ブッシュ政権のやり残し、ということに尽きるのだが

タリバン復活、アルカイダが生き延びている

ウサマ・ビンラディンが捕まらない

→テロの脅威が依然として残っている

「ブッシュの戦争」から「オバマの戦争」へ

歴史的にアメリカは戦線拡大して失敗してきた

撤退時期を知らせるのは戦術的に適切なのか

戦費は 09 年度だけで 300 億ドル

ソ連軍も 10 年の戦闘で成果なし

一言で言うと、オバマは本当はやりたくなかった

しかし米軍に説得される形で増派、オバマの戦争へ

アフガニスタンとは？

日本から飛行機を乗り継いで一番遠いのがアフガニスタン（南米とかより遠い）

日本だけでなく、世界のどの国からも遠い

イスラーム社会 最後のフロンティア（資源）

日本の 2 倍の面積に 2800 万人

新しい戦争の形

ロボット戦争

無人攻撃機による空爆

地上で標的を探す

テロリストを探し狙った上で狙撃

ただし、大変誤爆の多い作戦で民間人にも多数の犠牲者

アフガニスタンだけではなくパキスタンにも空爆
トラボラからビンラディンが逃げたという地域に集中的に空爆

激増する無人攻撃機

2004～2008 年	43 回	死者 349～405
2009 年	53 回	死者 413～709
2010 年	106 回	死者 521～857
合計	202 回	死者 1283～1971

これらのほとんどはテロリストでもなんでもない

このへんにいる人たちは何者？

パシュトゥーン人

インド・イラン系 言葉も似ている（カルザイとアフマディネジャドは自国語で会話可能）

1979 年 ソ連軍侵攻はなぜ？

戦略的思考と防衛的思考

インド亜大陸への足がかり

東西冷戦の陣取り合戦

アフガニスタンなどすぐ抑えられると思っていたがイスラーム＋アメリカに止められた
アフガニスタンで直前に政変があった

王政→クーデター→共和制

マルクス主義政党が権力を握ったのでソ連的にはチャンス到来だと思った

しかしうまくいかず

ムジャヘディン イスラーム戦士たちがソ連軍を追い詰めた

さらにアメリカも参戦

レーガン大統領 なんとかソ連に一撃加えてやりたいと思っていたところこれが泥沼化

CIA が現地作戦

サウジと資金を折半

現地指揮はパキスタン

サウジ情報部

トゥルキ王子

米国と同額の資金援助を約束

アメリカにとっては共産主義を倒したい

サウジアラビアにとってはイスラーム原理主義の支援

パキスタン情報部

アクタル・アブドゥル・ラーマン

原理主義者に資金

お金の動かし方の裁量は一切任された

→軍閥を育てることに（というと聞こえは良いが要はゴロツキ）

その中にビンラディンもいた

大損害を被ったソ連

なんと 9 年と 50 日アフガニスタンにいた

（2010 年 11 月にアメリカがこの記録を破った）

ソ連軍は 10 万人以上 のべ 60 万人以上

1 万 4000 人以上死亡

結局この 2 年後ソ連も消滅へ

国をかけての戦争をやり、何も得られなかった

ソ連軍撤退で興味を失ったアメリカは同様に去った

がしかしパキスタンはしっかり残ってイスラーム原理主義勢力を支援

アメリカは自分の金が原理主義を支援したことになったとわかっていたのか？

その頃アメリカにとってまだ原理主義は脅威ではなかった

共産主義掃討のためなら多少そのようなことをしてもよかったわけで

アフガニスタンで最後に勝ったのはタリバン

最初から残虐な原理主義として登場

大統領を街中で引きずりまわして公開処刑

公開処刑がタリバンの見世物のようになった

テロリストの訓練キャンプを作ってテロリスト養成

石油をめぐる「三国志」

米露中の争い

世界最大の石油産業

スーパーメジャーに 3 社 TOP50 に 9 社

政府と強い結びつき

アメリカの大統領は足しげく中東の首脳を訪問

さらに最近注目すべきはアフリカ

チャド、スーダン、ナイジェリア、赤道ギニア、アンゴラ、ガーナなど産油国として注目

ロシアは？

ロシアの野心 エネルギー大国

ロシアの持っているエネルギー資源はシベリアなど都市から遠いところにある

そのため投資が必要

シベリアの環境は厳しい

シベリアで取れたところでそこでは使わない 消費地まで長大なパイプライン敷設

「パイプライン外交」は契約取り付け

旧ソ連、中央アジア、コーカサスの資源も傘下に

そして非資源国をロシアに依存させようという作戦

ウズベク、アゼルバイジャンなどの首脳と頻繁に会談 最近は共同軍事演習まで

アフリカにも触手 頻繁にアフリカ訪問

資源を政治的武器に 例え対ウクライナ（非資源国）

中国は？

原油輸入が激増する中国

かつては自国生産でまかなえていたが現在は輸入 ギャップは広がるばかり

PetroChina など国営の石油 3 会社 世界に雄飛

中国はアメリカをしのぐペースで中東に進出

3 姉妹はメジャーの実力

アフリカと中国の結びつきを高めようとしている ex.中国アフリカ協力フォーラム

アフリカに中国は大量の平和維持軍を送っている スーダン

さらに労働者もアフリカに送っている ナイジェリア、アンゴラ

ケニアには大規模出資 ギニアにも触手

中国の石油輸入はアフリカのシェア広がる

周辺国からパイプラインを引く 構想中も
中央アジア、ロシアとも協力

しかしなぜこの3国は熱心なのか？
エネルギー資源に死活的関心
石油を掘るというノウハウ（石油・ガス会社、技術）を持っている
軍事力＝自己防衛が可能
マンパワー（建設、インフラ整備）
この3国の主戦場 中央アジア～中東～アフリカ

中東と中央アジア
米国は湾岸諸国
ロシアは中央アジア
中国はアフリカに触手＋イランやイラクに橋頭堡探る
中国と中央アジアの歴史・地理的關係
中東紛争
湾岸戦争、イラク戦争
グルジア紛争
上海協力機構 資源絡みで同盟関係を築いている

） 多くの紛争の影に資源がある

日本はどうか？
中東に9割依存
サウジに30% UAEに25.4%
我が国に中東政策はあるのか？ 機嫌をとっているだけ
経産省の打ち出した自主開発油田：権益を直接産油国の中に取りよう、という話
しかし現状は：自主開発原油の確保について、我が国はメジャーを有しかつ産油国である米・英のみならず、非産油国である他の先進国に比べても大きく立ち遅れた状況（エネルギー白書2007年版）
経産省自体も悪い 通産官僚が天下った民間企業が経営危機
10%から30%をめざしているが…
石油会社も育っていない 小規模分立の石油産業
経産省は合併を促進しているが…

負けが続いている
2000年 カフジ油田（サウジ）採掘権失う
2003年 クウェート分の採掘権も執行
2004年 石油公団、1兆円超の不良債権などで解散 現在はJOGMECに

2006 年 東シベリア太平洋パイプライン、中国に先に持っていかれた

2006 年 アザデガン油田の開発権を 75%から 10%に縮小 アメリカの圧力

2010 年、この 10%も諦めるという決断

日本は石油に関する意識が薄いと言わざるを得ない

南アジア地域

どんな地域なのか？

インド 1947 年独立

パキスタン 1947 年独立

スリランカ 1948 年独立

ビルマ 1948 年独立

バングラデシュ 1971 年独立

インド世界の形成

自然障害-ヒマラヤ山脈とか

インド・ヨーロッパ系とドラヴィダ系

仏教、ヒンドゥー教、イスラーム教

多数の言語（北部：印欧系 南部：ドラヴィダ系）

ムガル帝国

イスラーム帝国

インド亜大陸は世界最大のイスラーム人口を擁することに（一番多いのはヒンドゥーだが）
オスマン帝国・サファヴィー朝イラン・ムガル帝国が 3 大イスラーム帝国だった

少しおかしくなったのは西欧列強が進出してきた 17 世紀から

イギリスは少人数でインドを制圧 植民地化進行

少数精鋭で大インドを支配

1841 年国勢調査：

イギリスはアイルランドを含め 2600 万人

インド亜大陸は 4 億人

数々の戦争に勝利したイギリス

シバーヒーの反乱も鎮圧

イギリスはインド人をイギリス軍に取り込み戦力として活用

現在もグルカ兵として使っている

イギリスはインド兵の力を利用して WW1, WW2 も戦った

しかしイギリスはただ単に軍事力でインドを制圧したわけではなかった

インド人が心から感嘆するものを導入→鉄道

インドの鉄道を作ったのはイギリス人と言っても過言ではない

現在のインドにはイギリスが作ったままのものが残っている

イギリスが作ったのはそれだけではない

インド文官職

インド全土のエリートを厳選

上級職はすべてイギリス人だがインド人は誰でも受けられる

インド文官職は世界でも最も難しい試験の1つ 大体 20 万人受けて 200 人採用

イギリスの特徴：拠点主義

港湾都市であるカルカッタ・マドラス・ボンベイ

カルカッタのあと首都になったデリー、またラホールなどを拠点に

しかしなぜ維持できなかったのか？

WW1, WW2 で疲弊

分割統治で抑えていたが、インド人が「国民」として目覚める

→独立運動へ

3 人の指導者：ガンディー、ネルー、ジンナー

3 人ともイギリスで勉強してイギリスの弁護士資格を取得

「分離独立」か「連邦制」か？

インド国民会議派は1つのインドとしての独立

ムスリム同盟は分割独立を主張

ガンディー

非暴力・不服従（非協力）

インド人に大きな誇りを与えることになる

インドにあるものはインドで使おう

「インド製品でなぜ悪いのか？」という質問をつきつけることに

PAKISTAN とは？

P＝パンジャブ州

A＝アフガニスタン（北西辺境州）

K＝カシミール

S＝シンド

TAN＝バロチスタン

最後の総督

マウントバッテン卿

ヴィクトリア女王の曾孫

彼の妻はネルーと不倫関係にあったww

カシミール、パンジャブ、シンド→印欧・インド語派

パシュトゥーン、バロチ→印欧・イラン語派

2つの国家、異なる歩み

パキスタン

分割を望んだ

イスラーム教国

インドと常に対抗

軍事開発が支配的

核開発

イスラーム過激派台頭

将来が不透明

インド

統一国家を望んだ

ヒンドゥー教支配的

地域大国 前アジアをにらむ

民主主義

先に核開発

ヒンドゥー教至上主義

急に発展

パキスタンブット首相暗殺 未だに真相分らず

なぜ軍事独裁が続いたのか？

インドの圧力

3次にわたる印パ戦争

インドは不倶戴天の敵

インドを追ってパキスタンも核実験 1999年にも軍事衝突

カシミール問題

イスラーム化しているパキスタン

ジア・ウル・ハク時代に推進

イスラーム法

預言者侮辱、イスラーム侮辱に厳罰

「テロとの戦い」の真相

オバマ政権は何を知っている？

切れたヒラリー

「パキスタン政府の誰もアルカイダの居所がわからないなんて信じられないわ」

「私たちが知っている限り、連中はパキスタンにいるのよ」

さらにブラウン

「パキスタンにはもっと真剣にアルカイダと立ち向かってもらいたい」

要は

「パキスタンにはアルカイダがいる」

「パキスタン当局は居場所も知っている」

「それなのに捕まえていない」

しかしパキスタン政府とは誰のこと？

→Maybe 陸軍参謀総長 アシュファク・カヤーニを指している

彼は大統領や首相よりも権限・実行力を持っている

ベナジール首相時代に「秘書」 ※日本的な「秘書」ではない

「ベナジールとムシャラフ、権力を分け合っては？」という発言にも見られるように国政を牛耳っていた

カヤーニの権力基盤

2004-2007年、パキスタン統合情報部(Inter Services Intelligence=ISI)

アメリカ留学経験有り 米陸軍指揮幕僚大学に留学 「親米」の顔

ISI とは何か？

パキスタン最強の情報機関 軍事情報だけではなく秘密工作、破壊工作、政治情報も収集

後継者はハミド・ギウル

ビンラディンとも会う

9.11 はモサドの仕業との発言

なんかとりあえずやばい人たち

アルカイダと通じているっぽい？

前任者タジに至ってはアメリカ政府側が「やめさせろ」

ISI の double dealing

米軍には適当に情報提供

米軍の意図を聞く

部族地域の過激派にノータッチ

2 年前のムンバイのテロ

パキスタン人？パキスタン当局？

インドはパキスタン当局だと言っている

ISI の3大目標

- ・ インドに打撃を与える

- ・ アフガンを渡さない

- ・ パキスタンのイスラーム教護持

ISI が訓練したテロ組織がある

→ラシュカレ・タイバ

アメリカは何をしてきた？

パキスタンを「テロとの戦い」に協力させる

その一方、タリバン政権打倒後は放棄

オバマになり「イラクよりアフガン」となったが…

ベナジール一家

現大統領ザルダリ ベナジール夫 学歴詐称？

「ミスター10%」ありとあらゆるコミッションに 10%を要求 8 年獄中

なぜ「ブット家」なのか？

多様な国内 「軍」ではない政治家

後継者ピラワル

オックスフォード大学クライストチャーチ

19 歳でパキスタン人民党の党首

ブット家は女性の方が有望のような

バングラデシュ

過去 20 年間 2 人の女性指導者が交互に政権を取る

バングラデシュの民主主義

アワミ連盟のシーク・ハシナ

ジアウル・ラーマンの未亡人カレド・ジア

スリランカ

一族民主主義（一家民主主義）

バンダラナイ家→その未亡人→娘

勃興インド

インド詣で

サルコジ：12 月

オバマ：11 月

キャメロン：7 月

底知れない潜在力への売り込み

中国への牽制

「自由と繁栄の弧」

日本は麻生内閣時に作ったこのスローガンをもってインドに接している

見秀主義、市場経済の結びつき

もちろん中国へのカウンターウェイト

アジアの時代

パワーシフトが起きている GS 予測

「アジアの時代」

1980 年代にインドが言いだした

このころは日本の台頭を念頭に言っていた

最近になって米欧の研究者の間で定着

Global Power Shift in the Making

パックスアメリカナ、パックスブリタニカとの違いは「アジア」という集合体で呼ばれていること 中国でもインドでも日本でもなく「アジア」

共通した価値観はあるのか？ →Yes

初めは日本が主導（交代しつつあるが…）

「アジアの時代」は最近のもの！？

1000 年前の世界経済は 7 割がアジアによる

500 年前の世界経済も 3 分の 2 がアジアによる ヨーロッパも台頭はしてきたが

1820 年にもまだアジアで 6 割近く アジア優位

1913 年には欧米が優位確立 アジアが 4 分の 1 植民地主義

1950 年の戦後、独立直前が一番落ち込んでいた 2 割程度

1998 年には再逆転 4 割弱がアジア

…こう見るとアジアはずっと世界の中の先進地域

近代の一部の時期を除いてアジアはずっと世界一
人口は昔からずっと多かった

AEJ（日本抜きのアジア）？ Asia Except Japan

AEJ が挨拶代わり、と日銀出身者は苦笑する

しかし現在のアジアの成長は日本あってと考えるべき

日本が経済発展をリード

“Look East” by マハティール

お手本は西洋でなく日本である、というのは東南アジアの指導者が幅広く考えている

“経済第一” の価値観を広めたのは日本

日本はアジア諸国のほとんどで貿易、投資上位

ただし、もっとやれるはずではある！？

「日本の政府や企業は完全に取り残された」（御手洗前経団連会長）

確かに日本はアジアを戦略的に位置づけなかった

コスト削減で追い込まれてから進出

インド進出では大幅に遅れている

インド

巨大都市圏

ムンバイ、デリー、バンガロール、カルカッタ、チェンナイなど

100 万都市が全土に分散 39

～睡眠～

インド民主主義の定着

シンボルで投票

文字が読めなくても投票可能

今のところ大きな混乱は起こっていない 政権交代もスムーズ

ネルー＝ガンディー王朝

ネルーの権威

非常に理想主義であった反面、現実主義でもあった 戦争も辞さず

インドの最初の時期は「インド国民会議派」一党優位体制

指導力

インディラ＝ガンディー 1966 年から通産 16 年首相をやった

緑の革命実効

核実験も断行

印パ戦争

ガンディー一家の悲劇

後継者として考えていた次男サンジャイが 80 年事故死

インディラも暗殺

長男ラジブ ケンブリッジ大を出てパイロットをやっていたが弟の死で政界に

母親を継いで首相になったが暗殺

ラジブの妻ソニア＝ガンディー 総裁に イタリア人

国民議会を束ねる象徴 「マダム」

ラフール 40 歳 国会議員

ブリヤンカ 38 歳 州議会議員 しかし知名度は全国的

国民会議派の強み

カースト、宗教に頼らない

貧困層救済を公約

民主主義はどうインドを助けたか

インド

政権交代が定着

世論に配慮

自由な社会が人を伸ばす

カースト制度も機能

パキスタン

軍の存在におびえる

安定した政権交代は不可能

若い世代に閉塞感

イスラーム過激派の台頭

インド経済の歩み

人口が重荷から強みに

イギリス植民地時代の搾取

最初はゆっくりの経済成長 独立後 40 年以上たってから本格的に

社会主義の時期

飢餓による貧困をますます悪くしてはならなかった

しかしやはり非効率ではあった

緑の革命で農村を一変

自分たちの国民さえ食べさせられなかった国が食糧輸出国になった

貧困も激減

1991 年インド経済自由化

社会主義計画経済の放棄 規制緩和

インド教育の躍進

1881 年の識字率 3.2% 1947 年で 12% 現在 61.3%

(日本はほぼ 100% 中国は 90.9% パキスタン 41.5%)

1990 年代から自由化＝飛躍 教育熱

インド工科大学 (IIT)

コールセンターオフィス

世界の工場 vs.世界のオフィス

中国

製造業で世界を席巻

低価格

繊維

電気製品・

現代中国をどう見るか？

毛沢東の時代と鄧小平の時代

世界の工場から世界の市場へ

どこへ行くか

尖閣諸島事件

なぜ日本はこんなに弱腰なのか

なぜ中国はこんなに強硬なのか

中国は「アジアの覇権」を狙っているのか

中国の特殊性

劉曉波氏にノーベル平和賞

中国は諸外国に圧力をかけ、関係者を軟禁

「人権」はどうなっているのか？

中国は民主主義ではなく、共産党一党独裁であることからきている

北京、満州は寒い

伝統的に経済は南部 13～14 世紀から南で作った産物を北に

海運の発達した国家 鄭成功の時代からインド洋へ 東京より大きな港が 10 以上

海運・水上というコンテクストで日本は結構邪魔な位置にある （世界第 6 位の EEZ）

中国と海洋

国家海洋局「経済・社会発展の重要空間」海って大事！

「資源基地」石油や天然ガスを確保せねばならぬ

「国防の前線基地」日本は表立ってこんなことは言えないが

「中国が管轄する海域の 3 分の 1 が係争」wiz 日本韓国東南アジア ←本人たちも自覚w

日本は対中国対策において国民の間で何らかのコンセンサスがあるわけではない

菅さんだけが弱腰なわけではない

もう少し深い事情がこの問題の裏にはあるような

中国の経済

紀元 0 年～1800 年ぐらいまで中国は世界の GDP の 4 分の 1 ぐらい

それが 20 世紀に入って Down

人口も大体 4 分の 1 ぐらいを占め続けてきた

GS の予想では 2050 年には中国の GDP は世界 1 位、日本の 7～8 倍になるのでは

劇的な中国現代史

戦争→内戦

中国にとっては 1930～40 年代はずっと戦争

→社会主義、騒乱

19 世紀の屈辱＝アヘン戦争以後の西欧支配

日本の統治＝複雑な日中関係 現代にも影響を与え続けている

19～20 世紀は特殊な時代 この時代に対する見方は定まっていない

「巨人」の中国史

2 人の巨人によって作られた現代中国

毛沢東と鄧小平

日本と中国現代史

清末期以降、「日本」が重大なファクターに

中国共産党は「抗日戦争」で躍進した

民衆の組織化、大動員で中国共産党はのびた

1936 年には共産党軍は 1 万人規模／4 億人

1941 年には 44 万人に膨れ上がった

→「抗日」は今も共産党のイデオロギー

なぜ中国共産党は伸びたのか

愛国者、農民、貧困層

支配地域かで民主化、農民負担減 大衆を味方につけた

さらにゲリラ戦指導者としての毛沢東は大変優れていた

国境内戦

1945 年の重慶会談 43 日間続く

毛沢東と蒋介石の 2 人でどうにか治められないかと話を進めたが決裂

45 年 10 月に衝突

国民党 430 万

共産党 120 万

しかし 48 年に逆転 共産党が多数に

大躍進運動

毛沢東のユートピア社会主義

彼は中国経済を一気に発展させようと考えていた

農民の力を集団化によって引き出そうとし人民公社を作った→農民の意欲をそぐ

工業プロジェクト→農村を収奪

大躍進運動の終わりのころ大飢饉が発生 正確な数字はわからないが 1500~4000 万人

↓

劉少奇+鄧小平 vs. 毛沢東

という図式が生まれた

毛沢東が紅衛兵を動員して「走資派」

文化大革命とは何だったか？

毛沢東は大躍進政策の失敗で失脚

劉少奇一派への復讐を誓って文化大革命を起こす

「紅衛兵」実態は中高生、大学生

「造反有理」「司令部を襲撃せよ」

その傷跡

軍、政府幹部が根こそぎ追放させる

人的損害は莫大

教育は崩壊+教師が失脚、追放

青少年、「下放」で専門家層が育たず

残ったのは林彪ら「武闘派」と江青ら「文革派」

毛沢東死後、華国鋒が文革派を摘発

華国鋒 対 鄧小平

華国鋒

毛沢東に後継指名

公安部長

毛沢東を絶対視

近代化のシナリオなし

鄧小平

抗日戦争以来の実績

何度も失脚し復活→腕は一流

「实事求是」大変現実的

4つの近代化（中国語では4つの現代化）

中国は大衆に訴えかけるため数字スローガン多用

百花斉放・百家争鳴

黒五類

4 つの近代化

四旧打破 etc

改革開放スタート

1978 年、共産党が「脱文革・近代化」

鄧小平が日本を訪問した時の衝撃はあまりに大きかった 20 年でここまで差がついた

華国鋒が自己批判

鄧小平体制の成立

胡耀邦と趙紫陽が表舞台に

沿岸部に「経済特区」外資導入

「先豊論」＝平等主義放棄 先に豊かになる人がいてもいい 後から追い付けばいいのだ

天安門事件

胡耀邦はリベラルすぎるということで失脚

その死後、それを悼む学生が天安門広場に終結 これがスタート

学生は急進化、完全に民主化要求の色彩を呈していた

共産党はどうしていいかわからない 迷走し抗議が拡大・長期化

6 月 3 日から 4 日にかけて軍隊を出動 殺害してもいいという司令

共産党の公式発表では 300 人ほどの死者、だが万単位で死んだという話も

鄧小平は経済の自由化は認めたが民主化は反対だった

学生は急進化、民主化を要求

この事件後中国は沈滞、停滞

国際社会では浮くし

南巡講話

天安門事件で経済改革にブレーキ

87 歳の鄧小平、1992 年に上海など訪問

「改革開放はもっと肝っ玉を大きくしてやらねばいけない、纏足の女のような歩き方ではだめだ」

改革開放と独裁の共存

経済は自由化

しかし政治は一党独裁

共産党はそもそもなぜ共産党なのか？共産党が追求してきたものは平等社会
格差拡大は正当化できるのか？
資本家は優遇され、労働者は困窮
政治にコネがあるものが得をする腐敗社会
正義の見られない社会、金さえあれば OK

中国の経済成長を支えたのは工業生産
ただ全て外国に言われたことを作っただけではない
ロケットだったり軍用機だったり
新幹線みたいなものをヨーロッパからパクってみたい
（技術移転も含めた契約。つまり公然と技術を盗んでいる）
自動車工業も発展
市場も拡大
銀行も巨大化 現在時価総額で世界の 1, 2, 3 は中国の銀行

では中国はこのまま突っ走るのか？

中国の弱点

日本よりはるかに大きな格差をかかえる中国
メガリッチは 69 人（香港を入れると +25 人） ちなみに日本は 22 人
医療保険、学校進学
貧しい家庭はいつまでも貧しい 勉強以外に貧困を抜け出す道はない

余永定 中国人民銀行元通貨政策委員

「このままでは中国にブレーキがかかる」

Because of

社会の緊張、環境破壊、公共サービスの欠如、輸出への過剰な依存...
スモッグ、汚水...水や空気という簡単なところが破壊されている
朝 5 時から病院に並ぶ 適正な医療が中国では受けられない

「太子党」が物語る不公平

親が偉ければ出世できる

教育＋技能

人脈＋贈収賄

父親、母親、親戚に偉い人がいるということは大変有利に働く

「俺の父親が誰か知っているのか？」という殺し文句が効く

中国のメディア政策

メディアは「喉舌」 頭を持っていない

中国のメディアは完全な宣伝機関

自由なメディアは存在しない

劉曉波氏のノーベル平和賞受賞のニュースが流れなかったばかりか

それを流していた BBC など即座にカット

中国の退屈な報道

政府・党発表を最優先

「正面報道」という名目

プラス面を誇張し、マイナス面を排除 チェック機能が全く存在しない

一体、だれが見ているのか？

今後の中国を見る目

今後間違いなく世界最大の経済大国へ

しかし政治改革なしに経済改革は続くのか

アメリカのような「モデル」を世界に、他国に提供できるのか

朝鮮半島の諸問題

北朝鮮の闇

核問題をどう見るのか

韓国社会と日本

延辺島砲撃事件と金正恩

国民から隔絶した独裁

金日成は金正日を教育

金正日は破壊工作や謀略も担当

27 歳の金正恩「大正」は実績があるのか？

国民にはプロパガンダで浸透させるしかない

（↑これが通るといところが今の北朝鮮社会の最も危ないところである）

韓国攻撃は「実績」か？国内でしか通じない論理

天安号撃沈

北朝鮮の魚雷

46 人が死亡

国際舞台でいくら否定しようが国内では国民向けに言っている

北朝鮮を見る目

北朝鮮、指導者の思考パターンに我々の普通の一般的な常識は通用しない

一連の軍事行動は国民の民生を考慮しない独裁者

国民にとって良いどころか逆 北朝鮮の生活は想像以上にミゼラブル

こんな国と「外交決着」は幻想か

最も近い両民族、日本と朝鮮

日本語と朝鮮語（韓国語）

多くの学者が日本人は元々朝鮮半島から来たのかと考えている

歴史的・社会的にも

共通の隣人（＝中国、モンゴル）

宗教（儒教、仏教）

考え方も似ている？

日韓タレントのクロスオーバー

ハングルの世界

現在韓国はどんどん漢字のない世界に

日本

1 億 3000 万人

Brazil、米国に 100 万人以上の日系人

韓国に 15000 人

朝鮮

8000 万人

韓国 5000 万人

北朝鮮 2300 万人

中国、米国に 200 万人以上

日本に 90 万人

南北分断に至る道

1910 年併合 大日本帝国 終戦まで自力解放なし

8 月、ソ連軍が攻め込む 9 月に米軍

「南」と「北」

一緒に「光復節」迎えたのに大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国に分断

資本主義と社会主義

金日成

本名はキム・ソンジュ 1912 年生まれ

抗日パルチザン 中国東北部、満州国でパルチザンをやっていた

その頃「金日成」という人が実在した

伝説を盗んだ男

中国東北部で義賊「金日成」 1920 年代に活躍

ソ連軍が「すり替え」を画策

最初にあらわれたときにはもちろん「偽物だ」と思われたが

しかしなぜ彼なのか？

→若い共産党員 ソ連軍にとって操りやすい

朝鮮戦争（1950-53）

北朝鮮が始めた朝鮮戦争（当初自分が始めたことは否定していたが）

金日成、米軍の介入を全く考慮せず

韓国軍の弱さを見きっていた 「数日、数週間で粉砕」

しかし北朝鮮軍に食糧危機

韓国で民衆から奪おうとしたので「人民軍」は南で嫌われた

北朝鮮の優勢、一気に南まで迫る

SC で北朝鮮に軍を送るということが決定された

今なら中華人民共和国なので考えられないが当時は中華民国、台湾政府の席だった

マッカーサーの仁川上陸作戦

南の巻き返し 北朝鮮を北側に追いやった

これで終わってれば統一朝鮮が出来ていたがここでまた新たなアクター：中国

中国軍は人海戦術で米軍を押し返す

米軍も再び押し返して今のラインに

実は米中戦争？

彭徳懷 律事ウェー

米軍 50 万

中国人民解放軍 90 万人以上

米死者 36500

中国は少なくとも 40 万人以上 実際はこれよりはるかに多い数が死んだはず

中国のこの参戦、米軍を朝鮮半島から蹴散らしたということが、今日の中朝同盟の基礎になっている 血盟

生き残った「北朝鮮」

朝鮮労働党の一党独裁体制

金日成が相次いでライバルを粛正

「監獄国家」 テロリスト国家

経済面でも韓国に大差をつけられる

北朝鮮の闇

決して近づいてはいけない

どうしたらつきあえるのか

日本の国民を力ずくで拉致

1970 年代から 1980 年代

新潟市、佐渡島、福井県、鹿児島県
北朝鮮の工作員が極秘に不法入国→拉致
何が目的だったのだろうか？

全てはここから始まった
日本最初のハイジャック事件 よど号乗っ取り事件
赤軍派（左翼過激派）9 人の犯行 羽田→福岡の便を乗っ取って北朝鮮へ行けと命令
北朝鮮へ亡命
彼らは国内での闘争に少し行き詰まりを感じ海外拠点を求めて
北朝鮮は彼らを一挙に大歓迎
東アジア全域に革命を
しかし彼らをどうやって革命戦士に育てるのか
まずは家族を持たせてやろう 妻の調達

拉致が始まる前に北朝鮮に招集された女性たち
在日本朝鮮人総聯合会（総連）
在日本大韓民国民団（民団）
朝鮮総連幹部の娘たちを招集、乗っ取り犯の妻に
金日成思想に忠誠心
足りなくなってきたので拉致（横田めぐみさん、有本恵子さん etc）

発想の基本には「革命細胞を作れ！」
若者、女性、インテリ、専門職
結婚させ、家庭を持たせる
特権階級として扱った
ヨーロッパに留学、旅行中の日本人を狙うケースも（松木薫さん、石岡亨さん etc）

なぜいなくなったのか？
金正日総書記「拉致は部下が勝手にやった」
「13 人の拉致」までは北朝鮮も認める
「志望者 8 人を除く生存者 5 人を返した」
みんな若死にしたというのか？

横田めぐみさんの場合
1977 年 11 月 15 日、下校途中に拉致
1986 年に結婚

1987 年に女の子を出産

1994 年 4 月、入院先の病院で自殺

遺骨を送ってきたが DNA 鑑定で別人と発覚 日本をなめているとしか思えない嘘
夫の金英男

収容所半島

まずしい北朝鮮で「特権階級」扱いがどれほど続けられたものか？

ましてや最初から革命に協力する気などない拉致被害者に対して

アメリカの空撮で収容所はいくつも確認されている

このようなところに収容されていたのではないか

極寒、栄養失調の中生き延びるのは難しかったのではないだろうか

日本は何をしたかったのか？

金丸・田辺訪朝団が「友好」

外務省は拉致問題に取り組みず 日朝の外交上マイナスになると考えた

警察は「北朝鮮工作員の仕業」と早々に断定していたのに外務省は協力せず

拉致は 70 年代に起こった 20 年以上も放置

やっと動いたのが小泉時代

方針を全面転換、拉致問題に取り組むようになった

北朝鮮もこの際とりあえず謝っとう、と拉致を認め 5 人帰ってきたがその後進展せず

テロ国家、北朝鮮

朝鮮戦争後に「対南工作」 国家転覆を狙って色々やらかした

青瓦台襲撃未遂事件 1968.1.21

北朝鮮のゲリラが 38 度線を越境してソウルに侵入、大統領府を襲う

金新朝（キム・シンジョ）が生き残り全部吐くことになる

「朴の首を取りにやってきた」

ちなみに今彼は韓国で牧師をやっている

ラングーン事件

ラングーン（現ヤンゴン）のアウン・サン廟

大統領、全閣僚をふっとばそうとした 4 人死亡

カン・ミンチョル大尉

自白で終身刑に減刑 2008 年に肝臓がんで死亡

大韓航空機爆破事件 1987.11.29

1988 年ソウル五輪の破壊を狙う

日本のパスポート所持の 2 人 「日本人の仕業」と言い逃れるつもりだったか

乗員 100 人以上死亡 死んだのは労働者

労働者の国が労働者を殺してしゃれにもならん展開

国家がテロリスト養成

何者？

金賢姫

1962 年、外交官の娘 平壤外国語大学

自殺に失敗し、韓国に逮捕される

韓国当局は徹底的にソフトに当たり、全面自供に持ち込んだ

死刑判決→特赦

北朝鮮に残った家族は強制収容所へ

現在はボディガードと結婚し自由人として生きている

リ・ウネという日本人女性に日本語、日本人としての立ち居振る舞いを学んだ

田口八重子さん

「拉致問題解決」の見通しは？

小泉訪朝で北朝鮮が認める

安倍首相以降、「外交の看板」に

世論に配慮した

しかし米国にも既にはしごをはずされている

日本の独力では解決不可能

社会主義とは名ばかり

金日成は就寝指導者

息子の金正日を後継者に しかし特権身分だったので国民の暮らしはわからない

国民を食べさせたこともない

恐怖の政治

嘘と謎の人生

白頭山の「生家」 本当はソ連の軍キャンプ

後継争いの末、実績も何もないまま後継者に

この人物は何をやったか

1990 年代「核危機」

米国に体制保障を求める

核兵器開発で国際支援を獲得

度重なる核実験

なぜアメリカは交渉した？

在韓米軍に「核戦争の恐怖」

クリントン大統領は衝突を回避し交渉で核放棄させようとした

「何をするかわからない」

アメリカが勝手に怖がった負けパターン

ブッシュ政権も後に踏襲

北朝鮮の核開発

1950 年代からソ連の支援で開発スタート

プルトニウム抽出

パキスタンがひそかに支援？

1990 年代

北朝鮮経済の実態は？

「名目国民総所得は韓国ウォン換算で 27 兆 3 千億ウォン（約 2 兆円）で、韓国の 38 分の 1」（2008 年、韓国銀行）

鳥取県（50 万人）やヤマダ電機（従業員 1 万人）と同じ

↑

これも公式の為替レートで計算している 1 米ドル＝135 ウォン

闇レートでは 1 米ドル＝1800＝3600 ウォン ってことまで考えると…

現実には日本、韓国からの送金、また密貿易によって成り立っている

民生より核開発

韓国の政治

3 人の軍人

朴正熙、全斗煥、盧泰愚

その後 4 人の軍人

金泳三、金大中、盧武鉉、李明博

軍事独裁から民主政治へ
朴政権は民主勢力を弾圧
朴暗殺で全大統領に
盧泰愚、「ソウル五輪」でようやく民主化へ
全斗煥とともに両大統領は後に裁判にかけられた

弾圧された民主政治家
金大中は拉致、強制連行
光州事件では被告人席に

盧武鉉：汚職事件捜査で自殺 実業家からカネ 息子らに渡す

李明博：猛烈社員 日本生まれ 現代建設 18時間働く 新人の頃から活躍
スーパーサラリーマン 大統領になる前に2度ドラマ化されたww

経済では躍進
漢江の軌跡
最貧国の1つから OECD メンバーへ
G20 のホストを務めるまでに

韓国は恐るべき大学歴社会
SKY：ソウル大学 高麗大学 延世大学
ソウル大学出身者は初任給が60%高い
賃金格差

日韓+中国の東アジア共同体
実現性はあるのか？

問題点は？

中国とにっかん、政治体制に大きな違い
日韓は米国と同盟関係 中国はアメリカとそこまで近いわけではない
「歴史認識」「領土問題」
輸出主導の経済

利点は？

域内貿易は巨額
「経済第一」という東アジア的なイデオロギーを共有

日中は米国の大債権

手始めに共通通貨？

しかしそのためには私たちはもっとお互いのことを知っているのか？